

2025 年 9 月 27 日

ScandiNova Systems part of Nodica Group AB

スカンジノバ・システムズ株式会社

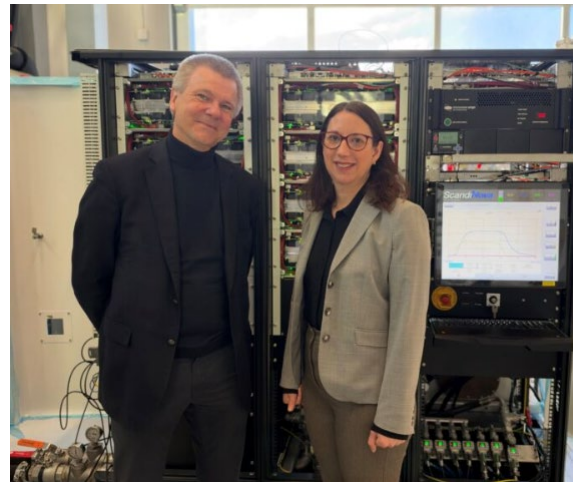


スカンジノバ は 創立 25 年を迎えました

2026 年 9 月 27 日、スカンジノバ・システムズ(スウェーデン)は創立 25 年を迎えました。私たちは創立以来、ウプサラにある生産拠点から 5,000 台にもなる高出力パルスモジュレータを世界中の皆様にお届けしてまいりました。その歩みの中で、スカンジノバは挑戦者という立場から業界の新たな標準を確立する存在へと成長し、その卓越したコンセプトと技術は、医療用放射線治療から科学技術に至るまで、幅広い応用分野におけるソリューションの基盤を築いてきました。

その歴史を振り返ります。創立時に 3 人の精鋭からスタートした当時(2001 年)、高電圧(-500kV)のパルスを送ることができる電子機器は唯一電子管(サイラトロン)だけで、半導体を使用したスイッチに切り替えるなど誰も想像すらしていませんでした。そのようなコンセプトは、当時業界ではかなり懐疑的に見られていました。

その後、2006 年に CERN(欧州原子核研究機構)でスカンジノバのモジュレータが採用されたのを契機に流れが変わり始めました。創立から 25 年が経った現在、私たちが信じた技術がこれほど多くの重要な分野で、世界中の皆様に使われていることを誇りに思います。



(左：創立者のミカエル・リンドホルム、
右：CEO スザンナ・エリクソン)

25 年にわたる間、製品は様々な改良が加えられ、高品質で冗長性の高い製品として世界の様々な分野で採用されています。その特異技術は、半導体スイッチを並列で使用し、昇圧トランスのコアを分離 (Split Core) したことで実現し、この基本コンセプトはスカンジノバの全ての製品で採用されています。設立から 25 年、5,000 台にもなるモジュレータを納入してきた実績が、その成功を物語っています。かつては懐疑的な目で見られていた技術が、今や業界標準となり、サイラトロン技術は徐々に姿を消しつつあります。

私たちは、これからも先端の技術に固執し、常に製品のリノベーションを模索し新たな挑戦を継続邁進し、50 年そして 100 年先の未来に取り組んでまいります。

お問い合わせ先

[日本]

スカンジノバ・システムズ株式会社
〒240-0005 横浜市保土ヶ谷区神戸町 134 番地
横浜ビジネスパーク西棟 11 階

CEO 湯城 磨
電話: 045-442-3005
osamu.yushiro@scandinovasystems.com

[スウェーデン]

ScandiNova Systems Part of Nodica Group
渉外担当責任者

Erik Sundström (エリック サンドストローム)

電話: +46 70 395 33 95

erik.sundstrom@scandinovasystems.com

SJA-260809688-01